



JASDAQ

平成 25 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 執行役員総務人事部長 井野 政之
電 話 04-7137-3113

当期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 11 月 9 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の連結業績予想値の修正についてお知らせいたします。

記

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想の修正

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,706	百万円 34	百万円 1	百万円 △16	円 銭 △1.00
今回修正予想 (B)	5,217	△361	△346	△378	△23.70
増 減 額 (B-A)	△489	△395	△347	△362	
増 減 率 (%)	△8.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	5,599	80	54	385	24.17

修正の理由

中国などでデータプロジェクターの需要が鈍化したことから、セットメーカーで在庫調整の動きがあり、当社グループのプロジェクター用反射鏡とフライアイレンズの販売数量は前回予想時より減少しており、需要の回復は来期になってからと思われま。また、フリット(ガラス粉末)については、量産出荷の開始が一部顧客向けにとどまり、販売の立ち上がりが遅れております。

新潟岡本硝子株式会社での反射鏡の一貫生産、高田工場(千葉県柏市)でのフライアイレンズの蒸着工程内製化などコスト削減のための方策を進めておりますが、その効果が現れるのは来期からとみております。

営業外収益及び営業外費用については、日本円の対米ドル、対ユーロ相場が当期中は現在と大きく変わらないという前提の下、為替差損益の改善を見込んでおります。

以上